

令和元年度 学術振興基金助成による成果報告書

令和元年 11月 12日

学 長 殿

所属部局・職名 人間発達文化研究科・大学院

申 請 者 名 藤田亮洋

助成事業の区分	<p>いずれかにチェックしてください</p> <p>研究協力に関する事業 (<input checked="" type="checkbox"/>学会参加)</p> <p>学術振興に関する事業 (<input checked="" type="checkbox"/>学生 <input type="checkbox"/>事務職員)</p>
事業名	日本教育実践学会 第22回大会 (於: 鳥取看護大学)
事業実施期間	令和元年 11月 2日 ~ 令和元年 11月 3日
成果の概要	<p>11月2日の自由研究発表において、担当教授である佐藤佐敏先生と共同で「〈非連続型テキスト〉の読解方略(Ⅱ) —データの適切性に着目する授業プログラムの開発—」という題目で発表を行った(発表は申請者である藤田が行った)。</p> <p>2006年 PISA 調査を契機に、国語科教育における〈非連続型テキスト〉の読解が注目されるようになった。しかし、その読解方略は整理されておらず、授業論は未だ確立されていない。そこで、筆者は非連続型テキストの読解方略を選定し、その読解方略の中から、「データの適切性」に着目をしてテキストを読解する授業プログラムを開発した。その実践結果を生徒の対話記録や、プリ・ポストテストの記述の変化をもとに量的・質的に分析したところ、その授業プログラムの効果の一部が実証された。</p> <p>全国から集まった大学教授の方や、現職教員の方に自身の研究の成果を発表するとともに、その方々との質疑応答を経て、貴重なご意見やアドバイスを頂けた。</p>